

## 和牛繁殖牛への WCS 用稲「つきすずか」の給与実証

### 要約

WCS 用稲の優良品種である「つきすずか」について、和牛繁殖牛への給与量を 5.5kg/日・頭から 8kg/日・頭に増給したところ、購入乾草の割合が低下し、飼料費が 395.9 円/頭・日から 354.4 円/頭・日に削減された。また、稲 WCS 多給により、牛群の平均の分娩間隔が 399.0 日から 391.8 日となり、繁殖成績の改善傾向がみられた。

### ○ 展示のねらい

WCS用飼料稲優良品種である「つきすずか」の利用拡大を図るため、和牛繁殖雌牛における本品種の給与実証を目的に、令和元年度にWCS用（飼料）稲を5.5kg/日給与していた農場において、給与量を8kg/頭まで増給し、飼料費や繁殖成績について比較を行った。

	供試牛	給与粗飼料
供試区	25頭（令和2(2020)年度）	WCS用稲8kg/日、乾草1kg/日
対照区	25頭（令和元(2019)年度）	WCS用稲5.5kg/日、乾草2kg/日

### ○ 主な成果

表 飼料の給与量、飼料費及び分娩間隔について

区	飼料別給与量 (kg/頭・日)			充足率 (%) *1		飼料費 *2 (円/頭・日)	分娩間隔 (日)
	配合飼料	稲WCS	チモシー 乾草	TDN	CP		
供試区 (WCS多給)	2.2	8.0	1.00	108.7	102.0	354.4	391.8
対照区	2.0	5.5	2.00	109.6	103.3	395.9	399.0

\* 1 日本飼養標準・肉用牛 体重450kg

\* 2 税込み価格。飼料別の単価は農家から聞き取り。

- ・両区で TDN と CP の値が同程度になるように飼料設計を実施したところ、供試区では対照区に比べ購入乾草の量が減った一方、配合飼料が 0.2kg/頭・日増加した。これは稲 WCS の CP 含有量が低いことが原因と考えられる。
- ・飼料費は供試区（WCS 多給区）で 391.8 円/頭・日、対照区で 395.9 円/頭・日であり、稲 WCS の多給により、購入乾草の割合が低減した結果、飼料費が削減された。
- ・分娩間隔について、供試区で 391.8 日、対照区で 399.0 日であり、稲 WCS の多給が繁殖成績改善に寄与した可能性が考えられた。

### ○ 今後の方向性

稲 WCS は正しく使うことで飼料費削減や繁殖成績改善が期待できる自給飼料であるが、購入乾草に比べて一般に CP が低いため、購入乾草から単純に置き換えると CP 不足となる懸念がある。飼料設計を必ず行い、配合飼料の増給等、飼料の調整が必要であることを指導し、普及拡大に努める。

実施機関：栃木県河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315